**■専門部会からの報告**

**資料３**

**令和６年度　相談支援部会　報告書**

|  |
| --- |
| **第２回相談支援部会** |
| 日時：令和６年９月５日（木）　午前９時３０分～午前１１時３０分 |
| 会場：品川区役所第２庁舎６階２６１会議室  |
|  |
| 概要： |
| **１．地域自立支援協議会検討課題について** |
| 　令和6年度第1回地域自立支援協議会の報告を行った。 |
| **２．ひきこもり支援に関する取り組みについて** |
| これまでの相談支援部会でのひきこもり支援に関する取り組みの振り返りを行った。　ひきこもりに関する相談窓口がわかりづらい課題があり、制度や分野ごとの属性を問わない包括的な相談機関として「重層的支援体制整備事業」の品川区の取り組み状況を知るため、担当する福祉計画課担当者より事業説明をした。品川区では、令和７年度重層的支援体制整備事業の本格実施に向け、事業の目的や内容の他、社会資源を一元化したシステムを構築中であること、24時間365日・誰でも無料・匿名で利用できるチャット相談窓口が開始されたことなどについて、説明があった。その後、グループワークで協議し、福祉計画課担当者と共有した。 |
| （１）グループワーク　重層的支援体制整備事業の取り組みを知ったことで、自分たちの役割でどのように連携していけるか、グループワークを行い、各グループから発表した。 |
| 1. グループから出た意見

・支援機関同士（高齢・障害・児童問わず）チャットなどで相談できるシステムを導入し、相談のハードルを下げる・支援機関同士顔を合わせる機会作り、他機関の情報収集と横のつながりや支援者のつながりの機会を増やしていく・新しい資源（あなたのいばしょ）を区民に広く周知する・支え愛ほっとステーションは区内に多数設置しており、区民と身近な窓口であるため、対象を多世代に拡大していくことは、相談窓口拡大に期待できる |
| 1. 相談窓口の周知方法についての提案

　・区民健診や手当の通知など。区からの郵送物に同封する　・ケーブルテレビで周知　・若者が集まる場所（ネットカフェや図書館、トイレの個室など）で配布　・学校の保健室や会社の健康管理室などで配布 |
| （２）まとめ　制度や分野ごとの属性を問わない包括的な相談機関があることを知った。地域の中の一つの相談機関にいる相談支援専門員として、アンテナをはり、支援が必要そうなケースだと感じた際は、アプローチしてみる、連携するなど、アクションをしていくことを確認した。 |
| **３．地域生活移行に関する取り組みについて**  |
| （１）地域生活移行に向けての取り組み状況や課題の共有（ケース）・長年地域移行を考えてきた方。見学・体験・面談を経て入居となった。・本人・家族共にグループホームの見学を行い、体験入居まで進んだが、主治医から移行に対する慎重な意見があったことで地域移行を取り下げた。（その他取り組み状況）・サービス更新時、モニタリング時等、本人・家族・支援者に地域移行の希望についてその都度確認と説明を継続している。・支援者はグループホームを目指せると考えるが、グループホーム入居後、施設に戻れなくなることを家族が懸念し、進めないケースが多数ある。 |
| **４．今後の取り組みについて**  |
| 現在課題と感じていることを話し合い、今後は「高次脳機能障害」について取り組みを進めていくこととした。高次脳機能障害に至った疾患によって介護保険は対象あるが、障害福祉サービスにも適さない、制度の狭間で支援に繋がらないことや、地域に特性を理解して受け入れを行える資源が少ないことが課題となっている。 |
| **５．相談支援専門員マニュアルの改訂について** |
| 相談支援専門員マニュアルについて、各事業所からの意見を踏まえ、改定していくことを確認した。 |
| 出席：部会長：品川区東品川障害者相談支援センター長　　　　部会員：１．品川区旗の台障害児者相談支援センター　　　　　　　　２．品川区東品川障害者相談支援センター　　　　　　　　３．品川区南品川障害児者相談支援センター　　　　　　　　４．品川区精神障害者地域生活支援センター　　　　　　　　５．品川区発達障害児者相談支援センター　　　　　　　　６．インクル南品川障害者相談支援センター　　　　　　　　７．相談支援事業所スタンドアウト品川　　　　　　　　　　８．福は家相談室品川　　　　　　　　９．品川区中延障害者計画相談支援事業所　　　　　　　　10．品川区東品川障害者計画相談支援事業所　　　　　　　　11．品川区大井第二障害者計画相談支援事業所　　　　　　　　12．品川区八潮障害者計画相談支援事業所 |
| **地域生活移行に関する取り組みについて** |
| 1. 地域生活移行件数　８名（取り組み開始の令和５年４月～令和６年９月）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 退所先 | GH | 自宅 | 高齢者施設等 |
| 人数 | ５名 | ３名 | ０名 |

【GH入居した５名の移行】・６５歳。未就学時より区外児童施設へ入所し、そのまま同法人成人施設を利用。同法人のグループホームへ移行。・１８歳。区外児童施設から、区内グループホームへ移行。・５８歳。４１歳で区外施設入所。同法人のグループホームへ移行。・６１歳。胃ろうを造設し、医療的ケア対応のグループホームへ移行。・３５歳。１４歳で区外児童施設へ入所し、退所と同時に区内成人施設へ入所。令和5年10月頃から地域移行を検討し、令和6年6月区内グループホームへ移行。【自宅へ移行した３名の状況】・４２歳。区内施設へ入所していたが、家族の希望により品川区の実家へ移行。　・５９歳。区外施設へ入所していたが、家族の希望により品川区の実家へ移行。・５２歳。区外施設へ入所していたが、家族の希望により品川区の実家へ移行。②調整・支援継続中　５名・家族の意向確認・意思決定支援により具体的検討中　……２名・グループホーム申し込み等進めている　　　　　　　……３名 |